

都会と共存する松戸の森の魅力を発信

常磐線で東京方面から松戸に入ると矢切の斜面林が目に入るので、松戸にはみどりが多いという印象を持たれる方が多いですが、都心に近いこともあり、みどりが広がる場所は限られています。今でも少しずつ森は減り続けています。樹林地の所有者のご理解とご協力のもと、その貴重な松戸の森を守る整備活動を私たち「松戸里やま応援団」が行っています。里やま応援団は、平成15年度に市長の諮問機関である「松戸市緑推進委員会」の発案で始まった「里やまボランティア入門講座」の修了生が立ち上げた団体で、今では市内15の森をそれぞれ別の会が受け持ち、次の世代に少しでも良い自然環境を引き継ぎたいという想いで活動しています。

松戸の森は都会的な環境と共存していることが特徴で、一步森に入ればまちの雰囲気とは一変、きれいな空気に包まれて、心が癒されていくのを感じられるはずです。野鳥や昆虫に出会えるのも楽しみですのひとつです。「オープンフォレストin松戸」などのイベントを通して、小さな子どもたちにも豊かな自然に思い切り触れ合って欲しいと思っています。森で活動をしていると、散策中の方々と会話する機会もよくあります。そんな人と人との触れ合いが生まれるのも、森を訪れる楽しみのひとつかもしれません。日常生活のすぐ隣に安らぎの場所がある素晴らしさを、これからもさまざまな活動やイベントを通して、多くの方に伝えていきたいと思っています。

松戸里やま応援団代表

横山 元

YOKOYAMA Hajimu

PROFILE

松戸里やま広域代表。オープンフォレストin松戸実行委員長。松戸里やま広域代表として、市内で里やま保全活動を行う各会との協力支援体制の強化を図りながら、松戸市のみどりを守るとともに、森でのイベントの開催などに尽力。みどりを愛する者として、人と人とのつながりを大切にしながら、仲間とともにみどりに対する理解を広めていく活動を続けていく。



さあ、きみもあそびに来てみて!

オープンフォレスト

O P E N F O R E S T

都市部に残るみどりを守り、みどりを大切にする心を育むきっかけとなることを目指し、新緑のきれいな5月に、普段は入れない森を一齐公開しています。公開する森は、ボランティアが日頃から保全活動をしている森、計18カ所。森を散策したり、ハンモックに揺られて読書をしたり、山野草を観察したり、手作りの遊具で遊んだり、木の実で工作をしたりと、楽しみ方はいろいろ。こんなに近くに森があるなんて！発見とやすらぎが満載の、ワクワクするイベントです。



ネットを使って
木登り大成功！



カブト虫の幼虫を
見つけたよ！



オープン
フォレストの
イメージ動画
見てみよう!

注意点

■ 森には駐車場、トイレがありません。
■ 服装は、長そで・長ズボン・運動靴で。

連絡先
8:30～
17:00

松戸市 みどりと花の課
☎047-366-7378(平日のみ)



松戸市公式
ホームページ

